［広報］ 鮫川村広報紙

さめがわ

12

2005 No. 620

平成17年12月１日発行

特集

「手・まめ・館」から鮫川の元気を発信！

村農産物加工・直売所「手・まめ・館」がオープン



■行政情報

平成18年度保育園入園児童募集 ほか

■ほっとニュース

芳賀文雄さんが旭日小綬章を受章

第８回交通安全東白川地方大会 ほか

［表紙写真］
さめっ子フェスティバル
(11月19日／14pに関連記事)



●特集

「手・まめ・館」から鮫川の元気を発信！

村農産物加工・直売所「手・まめ・館」がオープン

村農産物加工・直売所「手・まめ・館」が、11月６日にオープンしました。

「手・まめ・館」には、村の人たちが"まめ"に作った農産物や加工品など村民の「元気」が集まります。

今月は「手・まめ・館」を紹介します。

直売所・食堂・加工室などを整備

村が準備を進めてきた「鮫川村食と農の学習施設、農産物加工・直売所『手・まめ・館』」（以下「手・まめ・館」とします）がこのほど完成し、十一月六日に開所式とオープニングイベントが開催されました。

「手・まめ・館」は、村の基幹産業である農業の振興と、高齢者の健康づくり・生きがいづくりから自立する村づくりを進



「手・まめ・館」ののれんをかける大樂村長と名付け親の関根由美子さん（右）



買い物客でにぎわう直売所

める「豆で達者な村づくり事業」の拠点施設として、旧鮫川幼稚園舎を改築して整備されました。

施設は、建床面積が四百七十五・二五平方㍍で、村内産の農産物・加工品、工芸品が並ぶ直売所のほか、食堂、豆腐・納豆加工室、食品加工室などで構成されています。また、敷地内の一角には遊具を設置。子どもたちがのびのびと遊べるスペースとなっています。



施設の名称　鮫川村食と農の学習施設、農産物加工・直売所「手・まめ・館」
施設の位置　鮫川村大字赤坂中野字巡ヶ作116番地
主な施設　建床面積…475.25平方㍍（豆腐加工室26.00平方㍍、納豆加工室14.00平方㍍、直売施設84.60平方㍍、食堂・体験室82.04平方㍍、食品加工室48.00平方㍍）、敷地面積…4,151平方㍍
事業費　58,134,090円（助成金3.6％、県補助金46.5％、過疎債37.5％、一般財源12.4％）

生産者を中心とした運営協議会で運営

「手・まめ・館」は、「手・まめ・館」運営協議会（会長・大樂村長）が運営しています。

協議会は、直売所に出荷する生産者（「手・まめ・館」会員）、村および商工会で組織され、これまでに五十一名が登録されています。「手・まめ・館」では、農産物などの受託販売や食品の加工・販売、食農教育などの事業が行われます。

広々とした直売所には約１１０点が勢ぞろい

直売所内には、村内でとれた野菜や果物などの農産物をはじめ、わら細工などの工芸品、漬物などの加工品が並びます。

「豆で達者な村づくり」事業でお年寄りが栽培し、「低農薬・減化学肥料」にこだわった大豆から作られる豆腐や豆乳、きな粉のほか、じゅうねん（エゴマ）を加工したタレや油などの特産品もそろいます。





上…直売所にはふれあいがいっぱい／左…投げ餅でオープンを祝う参加者

11月6日に開かれたオープニングイベントは、奥州鮫川太鼓保存会（芳賀良雄会長）による和太鼓の演奏で幕を開け、大樂村長があいさつ。続いて「手・まめ・館」の名付け親となった関根由美子さん（赤坂西野字荻ノ沢）に大樂村長から名付け親大賞の賞状が手渡されました。

また、投げ餅や試飲・試食コーナー、手のひらスタンプコーナー、アマチュアバンド（案山子）の演奏など多彩な催しが行われ、「手・まめ・館」のオープンを祝いました。





上…直売所内には村内産の豊富な農産物がそろいます
下…壁には会員の顔写真がズラリ

また、直売所内の壁面には、「手・まめ・館」会員の写真が並べられ、生産者がひと目で分かるようになっています。「顔」の見える販売で、安心をお届けします。

村内産の野菜を使って おふくろの味を提供

直売所隣には食堂が整備されました。食堂で出される料理は、「おふくろの味」にこだわって作られ、毎日メニューが替わります。食材には、直売所で取り扱う村内産のものが使われています。

営業時間は、午前十一時から午後二時までが昼食を提供するランチタイム、午前十時から十一時、午後二時から四時までが豆乳やコーヒーなどを提供するカフェタイムとなっています。

「手・まめ・館」の役割

「手・まめ・館」には、村のさまざまな「元気」が集まります。村内で作られたものを村内で消費する「地産地消」はもちろん、地域経済の活性化や食農教育の場、都市との交流の情報発信地として、「手・まめ・館」が果たす役割には大きな期待が寄せられています。

ここでは、「手まめ館」の食堂に設置したアンケートの中から、これまでに寄せられた意見をご紹介します。



広々とした食堂内

- 野菜がたくさん入っていておいしかった。
- イスとテーブルに木の温もりが感じられて良いです。
- 地元産の野菜を使っていることをもっとＰＲしてはどうか？
- 豆腐料理を増やしたらどうでしょうか？
- 店内が少し寒そうに感じます。
- もっと献立を多くしてほしい。
- 単品の数がもう少しあったらいいと思います。
- テレビを見ましたが、お年寄りがやりがいをもって働ける機会を作ったことが一番すばらしいことだと感じました。
- 村の活性化を心から応援します。
- こんにゃくがとてもおいしく、豆乳も味がしっかりしていてどこよりもおいしかったです。
- こんにゃくを使った料理があったらいいと思います。
- 一品一品心がこもって作られていると感じました。



待ちしています。

調理担当
蛭田光枝さん
ひるた・みつえ
（赤坂東野字広畑）

第１に清潔感に注意し、笑顔を大切にしてお客様に接しています。

村内産の野菜を利用しておいしいものを日替わりで用意しています。これからの季節には温かいものを用意しますので、ぜひ食べに来てください。

調理担当
本郷訓子さん
ほんごう・のりこ
（西山字落合）

「手・まめ・館」に来て、心が和んでもらえるような雰囲気づくりと、村内でとれた野菜を使って、お客さまに喜んでもらえるようなものを作りたいですね。

「また来たい」と言ってもらえるように頑張りたいと思います。



誰もがほっとひと息つける場所それが「手・まめ・館」です

村農林課 振興公社準備室
本郷まさ子室長
Masako HONGO

「手・まめ・館」は、お年寄りが栽培した大豆を加工した豆腐や味噌、農家が栽培した農産物を販売する施設として整備したものです。

農家の人たちは出荷するほどの量は作れなくても、自分のうちで食べる分以上に作るため、それらを活かせる場所と、買う側も安全な農産物を安心して買うことができる場所があればいいと考えました。

ここ「手・まめ・館」には、村内産の安全な農産物のほか、さまざまな加工品がそろっています。また、ほかの直売所と違い、村内産の農産物を使った料理を日替わりで提供しています。豆腐を使った料理などはここでしか味わえないものです。体験スペースは子どもたちの食育の場として利用し、食べ物の大切さを伝えていきたいと思います。

「手・まめ・館」は、誰もがふっと立ち寄り、ひと息つけるような憩いの場にしたいと考えています。小さい子からお年寄りまで気軽に立ち寄れる雰囲気を作っていきたいですね。小中学生のちょっとした待ち合わせ場所（送り迎え）としても気軽にご利用ください。

また、村外に村の良さをＰＲすることはもちろん、村民が村の食べ物の良さ、住むことの良さを見直せるきっかけになって、ここに住む自信につながっていくことを期待しています。



「手・まめ・館」には、豆腐・納豆加工室を整備。村内産大豆100％で作られる「達者豆腐」は、１日150丁限定で製造・販売されます。（豆乳・おからもあります。）

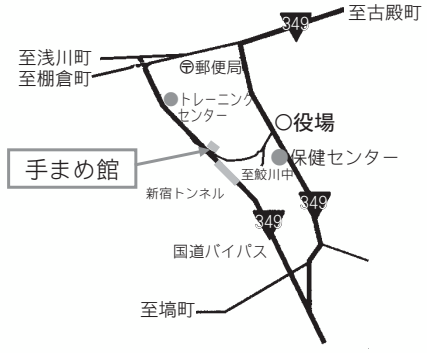
鮫川村農産物加工・直売所
「手・まめ・館」

■営業日
正月（１月１日～３日）を除く毎日

■営業時間
【農産物等直売所】
４月～９月
午前９時～午後７時
10月～３月
午前９時30分～午後６時

【食堂】
ランチタイム
午前11時～午後２時
カフェタイム
午前10時～午前11時
午後　２時～午後　４時

■案内図



■ホームページも開設しました！
内容●手・まめ・館の案内や生産者情報、インターネット注文、掲示板など
ＵＲＬ
http://temamekan.com



■問い合わせ
村農産物加工・直売所
「手・まめ・館」
電話　４９－２５５６
FAX　４９－２４４５



左から飯塚ひろみさん（緑のふるさと協力隊）、三瓶さん、阿久津さん、藤田さん、蛭田さん、本郷さん

■「手・まめ・館」スタッフ紹介
みなさんのご利用をお待

調理・レジ担当
三瓶奈緒美さん
さんぺい・なおみ
（赤坂西野字茅）

村の人だけじゃなく、いろんなところからお客さんが来てくれて、鮫川をもっと知ってもらえるような店づくりをしたいですね。
笑顔を絶やさず、みんなで力を合わせていい雰囲気を作りたいと思います。

レジ担当
阿久津妙子さん
あくつ・たえこ
（西山字折戸）

商品の鮮度のチェックを欠かさず、お客様が買いやすい陳列を心がけています。
笑顔での対応はもちろんのこと、レジやお釣りなどの間違いのないように注意し、鮫川村のＰＲもしていきたいと思います。

調理担当
藤田敏江さん
ふじた・としえ
（渡瀬字関口）

お客さまに笑顔で接し、いつもおいしいと言ってもらえるように料理を作っていきたいです。村内はもちろん村外の人も寄ってくれることを期待しています。
みんなで仲良くまとまってがんばっていきますのでぜひ来てください。

年末調整・確定申告には
国民年金保険料の納付証明書が必要になります

11月初旬に証明書を発行

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税などの社会保険料の控除の対象となりますが、これまで（平成16年分）の年末調整や確定申告の手続きでは、納付した保険料を証明する書類の添付は必要ありませんでした。

しかし、所得税法などの一部が改正され、平成17年分の所得申告から国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合に、一年間に納付（納付見込みを含みます）した国民年金保険料を証明する書類の添付が義務付けられました。

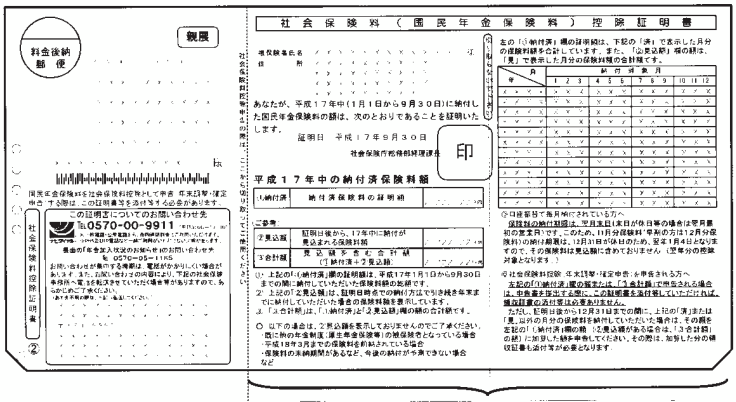
このため、生命保険会社などから送付される控除証明書と同様に、一年間に納付した国民年金保険料の額を証明する「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」（はがき）が、社会保険庁から毎年11月初旬に送付されることになりました。

証明内容は、本年1月から9月末日までに納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込額です。

年の途中に加入した方は2月初旬に送付

年の途中から国民年金に加入した場合など、10月以降に初めて保険料を納付する方については、翌年2月初旬に同様の証明書が送付されますので、年末調整または確定申告の手続きの際は、必ずこの証明書や領収証書を添付してください。

■社会保険料（国民年金保険料）控除証明書の例



社会保険料申告の際は、この部分を添付等してください。

家族の保険料を納付した場合も控除対象に

国民年金保険料は、被保険者本人だけでなく、その世帯の世帯主および配偶者も連帯して納付する義務があります。世帯主または配偶者として家族の国民年金保険料を納付した場合は、その納付額の全額が納付した方の控除対象（所得税、市町村民税など）となります。

このような場合は、年末調整などの手続きの際に自分自身の社会保険料の額と合計して申告してください。その際、家族の分の証明書も申告書に添付する必要があります。

●問い合わせ
村住民福祉課住民係
☎49-3112
福島社会保険事務局
白河事務所
☎0248-27-4165

一緒に遊ぼう！保育園で

平成18年度保育園入園児童募集



「保育園って楽しいよ」

平成18年4月から鮫川保育園へ入園を希望する児童の申し込みを次により受け付けます。

●保育園の概要

所在地…赤坂西野字酒垂3番地3（さめがわこどもセンター内）

定員…120名

対象児童…乳児（6カ月以上）から4歳児まで（5歳児は幼稚園就園児とします）

開園時間…午前7時～午後6時30分

●入園基準（児童の保護者が次のいずれかに該当し、家庭内で保育ができない場合）

1　日中に家庭外で仕事をしている場合

2　日中に家庭内で家事以外の仕事をしている場合

3　母親がいない場合

4　母親が出産または病人・障害者などの場合

5　病人や障害者などの看護をしている場合

6　家庭が災害にあった場合

●受付期限　12月15日（木）

●受付場所　村住民福祉課福祉係またはこどもセンター

●手続きに必要なもの

1　保育園入園申込書（住民福祉課またはこどもセンターにあります）

2　印鑑

3　母親の就労状況を証明する書類（勤務・内職をしている場合は事業所の証明。自営業・農業などの場合は地区民生委員の証明）

●その他　平成17年度から引き続き入園を希望する児童については、申込書の提出は必要ありませんが、母親の就労状況を確認するため、該当者へは別に通知します。

●問い合わせ

村住民福祉課福祉係
☎49-3113

さめがわ
こどもセンター
☎29-1010

1 NEWS
芳賀文雄さん（前鮫川村長）旭日小綬章（旧勲四等）を受章



前村長の芳賀文雄さん（赤坂中野字巡ケ作）は、五十年以上の永きにわたり鮫川村の発展に貢献した功績が認められ、このたびの秋の叙勲で「旭日小綬章」を受章されました。

芳賀さんは昭和四年五月一日生まれの七十六歳。昭和二十二年に鮫川村役場に奉職以来、三十年間にわたり地方自治の発展に貢献されました。昭和五十二年五月から六十二年二月までの九年十カ月は、村収入役を務め、健全な財政の運営に努められ、昭和六十二年四月に鮫川村長に当選以来、平成十五年八月までの十六年四カ月の永きにわたり鮫川村の発展に尽力されました。

勲章の伝達式は十一月四日、福島市の知事公館で行われ、八日には皇居内で天皇陛下に拝謁し、感激も深く帰郷されました。

このたびの受章に対し、芳賀さんは「健康で長い間仕事できたのは、村民みなさまの温かい理解とご協力のおかげです。村民を代表して受章する気持ちです」と喜びを語ってくれました。

2 NEWS
交通事故のない地域を目指して 第8回交通安全東白川地方大会

第八回交通安全東白川地方大会は十一月九日、農業者トレーニングセンターで行われ、東白川郡内の交通関係者約三百五十人が参加しました。

開会に先立ち行われたアトラクションでは、福島県警察音楽隊が「マツケンサンバⅡ」などのおなじみの曲を次々と披露。

大会では、交通事故犠牲者に対する黙とうが行われた後、大会会長の大樂村長があいさつし、交通安全に功績のあった個人・団体に対する表彰が行われました。

また、鮫川小六年の蛭田耶子さん（田野上）と棚倉地区交通安全協会高齢者支部鮫川分会長の藤田一夫さん（本坂）がそれぞれの立場から交通事故防止に対して意見を提言。続いて大会宣言が採択され、交通事故のない社会を創ることを誓いました。





上・交通功労者に対する表彰／下・県警音楽隊のアトラクション

3 NEWS

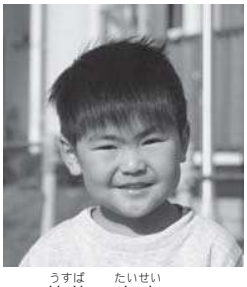
むし歯のない子は5人
10月20日実施の3歳児健診

十月二十日に村保健センターで実施した三歳児健診で、むし歯がなかったお子さんは、受診児十人中五人でした（写真）。

次回の三歳児健診は、二月二十三日（木）の予定で、平成十四年八月から十一月までに生まれたお子さんが対象となります。



中川西（なかがわさい）　夢奈（ゆな）ちゃん
①石井草字森ノ前／②父・悠さん、母・ミユキさん／③寝る前の歯みがきをがんばりました。



薄葉（うすば）　大生（たいせい）くん
①赤坂中野字東前田／②父・正勝さん、母・真澄さん／③食べる物を制限するのは難しかったので、毎夜の仕上げみがきは入念にやりました。



舟木（ふなき）　陽菜（ひなた）くん
①赤坂西野字石ノ花／②父・正博さん、母・由香里さん／③朝晩の仕上げみがきをかかさずやりました。



白石（しらいし）　結菜（ゆうな）ちゃん
①渡瀬字青生野／②父・和良さん、母・眞希子さん／③牛乳を好んで飲んでいました。間食の多い子ですが、極力甘い物は避けました。



星（ほし）　朋香（ともか）ちゃん
①赤坂西野字薮／②父・徹さん、母・喜子さん／③夜寝る前の仕上げみがきを必ず行いました。

①住所／②両親／③お子さんが虫歯にならないためにがんばったこと

4 NEWS

高原の秋を満喫
第18回高原の鮫川うまいもの祭り



さまざまな催しでにぎわったうまいもの祭り

第十八回高原の鮫川うまいもの祭りは十月十六日、鹿角平観光牧場で開かれ、村内外から大勢の家族連れや職場のグループなどが訪れました。

会場には、特産品の青空市や試飲・試食コーナーなどが設けられたほか、特設ステージでは第三回全日本干し草投げ選手権大会や干し草のステージ歌合戦など多彩な催しが繰り広げられ、参加者らは高原の秋を思い思いに満喫していました。

5 NEWS

江竜田の滝で勇壮な音色響く
第2回江竜田の滝和太鼓ライブ



滝をバックに力強い演奏が行われた和太鼓ライブ

奥州鮫川太鼓保存会（芳賀良雄会長）主催の第二回「江竜田の滝和太鼓ライブ」は十月三十日、江竜田の滝で開かれ、大勢の人で賑わいました。

二回目の今年は、奥州鮫川太鼓保存会のほか、塙町のエイサー太鼓、埼玉県の小山流津軽三味線の演奏も行われ、聴衆を魅了しました。

会場内には焼きそばやとん汁なども並び、訪れた人たちは晩秋の一日を楽しんでいました。

みんなのページ

森　元良さん

M o t o y o s h i　M O R I

もり・もとよし●昭和年27年3月生まれ。赤坂東野字遠ケ竜在住。東白川郡森林組合勤務。遠ケ竜若衆会会長。趣味は秘湯めぐり。



黄金崎不老不死温泉（青森県西津軽郡）にて

みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
ＴＥＬ　0247-49-3111
ＦＡＸ　0247-49-2651
Eメールアドレス
soumu@vill.samegawa.fukushima.jp
総務課総務係
「広報さめがわ担当」まで

村民［随想］リレー ⑧⑨

秘湯浪漫

十数年来愛読している雑誌に旅行読売という一冊の週刊誌があります。コンビニなどで立読みをしたのがこの本との出会いです。それ以来現在では年間購読申し込みをしており、毎月末に送付されてくるのが楽しみの一つです。そしてこの週刊誌との出会いこそが私を秘湯の旅へと気持ちを高ぶらせた要因の一つです。

もう一つはストレスの解消もない訳ではありません。群馬県の室川温泉、秋田県は玉川温泉、泥湯温泉、そして乳頭温泉鶴の湯、青森県は日本海の波打ち際にある黄金崎不老不死温泉、新潟県は上杉謙信の隠し湯とも言われる奥湯沢の貝掛温泉などなど。そしてこれらの温泉は団体旅行ではなかなか味わうことの出来ない秘湯ならではの趣があり、リピーターの多いのにも驚かされました。

露天風呂に浸り星空を眺め、ある時は海に沈む夕日にしばし心奪われ、湯上りに旬の料理、地酒でもあれば旅の疲れも何処へやら。これが本当の湯め気分。団体旅行ともなるとそれなりに気も使います。そういった意味ではプライベートの秘湯の旅はこれからも続くのではないかと思います。そしていつかは孫も連れて行ってみたいと思います。

次は、栗原順一さん（富田字鍬木田）にバトンタッチ！ ■

郡山高等技術専門学校（テクノカレッジ郡山）能力開発課☎024-944-1663 FAX024-943-7985 URLhttp://www.tck.ac.jp/

●放送大学で学んでみませんか　放送大学はテレビ・ラジオで授業を行う通信制大学です。さまざまな年代や職業の人たちのニーズに応える科目を360以上用意しています。大学や大学院の授業科目を１科目から気軽に学べるチャンスです。この機会に放送大学で学んでみませんか。／問い合わせ・詳細…放送大学福島学習センター（郡山女子大学内）☎024-921-7471

●2006福島県民手帳を頒布しています　村企画調整課では、福島県統計協会発行の「2006福島県民手帳」、「福島県のすがた」、「福島県勢要覧」を頒布しています。希望される方は代金持参のうえ村企画調整課でお求めください。▶「2006福島県民手帳」／頒布価格…500円（税込）／内容…見やすい月間予定表と日記編、最新の統計資料、日常生活に役立つ便覧（県内の主な行事、年齢早見表、県機関一覧など）▶「福島県のすがた」／頒布価格…380円（税込）／内容…福島県のすがたをグラフで見やすく表示。県内市町村の主な統計資料を掲載▶「福島県勢要覧」／頒布価格…1,500円（税込）／内容…県勢全般が分かる総合統計書。県内市町村の最新統計資料を網羅／頒布期間…平成17年12月１日（木）～平成18年２月28日（火）まで／問い合わせ…村企画調整課企画振興係☎49-3115

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで

広報 文芸

師走（しわす）

俳句

※第58回村文化祭作品

【村長賞・天】面影が揺れる秋明菊の白　山本五十鈴

【村長賞・地】朝顔の種仕舞うところ決めかねる　鈴木米子

【村長賞・人】九月尽笑いを漏らす羅漢像　高杉正生

【議長賞】虫の声育つ石棺ある暗さ　薄井日暮

【教育長賞】書き出しの一字躓く冬の雷　松本志津子

故郷はきばらずしゃべる炬燵かな　矢部正子

追憶をたぐり寄せたる通草かな　斎須信子

老人がきれいに残す秋刀魚骨　中井恒峯

コスモスや検診結果念を押す　山本恵子

オニヤンマ追いかけているおさげがみ　小松ハルエ

黒々と田に残りたる刈り機跡　黒田寿香

さえづりや庭木を移り隣家まで　金沢暁舟

百舌鳥鳴くや豆腐買いゆく手まめ館　松本精一

朝焼けの空にあふれる鰯雲　前田縫子

短歌

百一の作況指数間々ならず苛立つ農家秋の長雨　松本一郎

曇り空富士山見えず残念と車窓に眺め東名を行く　前田喜子

青畳敷いたる様に伏す稲田追い打ちかけて雨降り続く　藤田千代子

見慣れたる前山傾（なだ）り朱に燃える亡夫と植えたる彼岸花咲く　杉山磯子

稲刈りの済みて安堵の秋日和泥にまみれしバインダー洗う　関根キヌ子

茗荷採るわが手を待ちて薮蚊奴が忽ち刺して逃げて行く　田中志乃

村起こす大豆と思いば此れ位苦にはならぬと刈り取り励む　北條平

一夏の涼呼び終えし風鈴は役目果たして箱に収まる　鈴木クニ

秋深み庭の枯れ花片付けるまた来る春を吾は信じて　岡部シゲ

信念と感謝の気持ち忘れずに老を楽しく惚けず生きたし　赤坂朝子

湯の宿は女将の笑顔に迎えられ旅の疲れも一度に消える　水野ミチ

野次馬の声は聞くまいひたすらに通るを念じゲートを狙う　関根フク

老いづきて忘れがちなる常日頃探す時間の多くなりたり　関根ヨネ子

八十路なるわれの散歩を薄穂は手を振る様に揺れて見送る　斎須ミヨ

雨上がり草紅葉せる畑隅に茄子は紫紺の光りを弾く　かます

若き日の苦労の貯金今戻したまにはいいさ湯治にゆくも　根本恵智

孫が漸く大学目指すわが子らに果たせなかった夢も託されて　坂本雪絵

神主さん来るを待ちつつ供養塔に纏わる話の花咲かせいる　前田初

秋彼岸花露そっと手にうけて亡き子を偲ぶ碑に参りつつ　須藤マツ子

何とかなる人生なりと友はいうその楽天がわれにも欲しき　蛭田光江

銀飯を腹一杯に食べし夢見たよと眠りし友は還らず　蛭田浩市

短か夜の如きこの世に間借りして七十六年出来ることはせし　芳賀常夫

「石ころは当った分だけ丸くなる」心の友としつ生きて来ぬ　森芳子

花好きが花を手入れの朝夕にいつしか染まる花に心も　遠藤秀

老ゆるとも仕事の夢は捨てられず今朝も研ぐなりわが鍬鎌を　大平太平

家族らといのちの絆しかとして生きる小庭に福寿草咲く　吉田世津

香を焚き耳を澄ませば墓碑冴えて聞こゆる如し亡き母の声　溝井清乃

痛む脚引きずり乍ら秋分の墓碑に供えぬ野の花一輪　齊藤平四

汗しつつ草除やりし道端の野菊は咲きぬ香に匂いつつ　鈴木俊子

今も昔も変わらぬ姿汗をして働く農にしるす生甲斐　岡部一

この朝も掃かずに置くか金木犀散りたる花の匂いのしるく　鈴木イミ子

深山にて季の茸を見つけた日忘れられない胸のときめき　水野珠子

七十路の一人の坂を顧みる仄かと光れり苦難の跡は　関根瑞恵

草むらに秋の香りを放ちつつしめじは出でぬ茎太くして　柿沼鯉乃

さめがわ
畑楽（はたらく）協力隊だより Vol. 8

緑のふるさと協力隊・飯塚ひろみさんの鮫川村体験記です。

鮫川村の底力

11月６日、直売所「手・まめ・館」がオープンしました。毎日、そこでお手伝いをさせて頂いています。オープン当日、続々と集まる品々を見て、改めて鮫川村の自給力を感じました。

ここへ来る前の研修で、東北の農山村を訪ね歩いておられる仙台の結城登美雄先生が「日本は自給率40％だが、その40％の多くを生産しているのは東北の村々であり、１億３千万人の食糧を賄っている東北にはそれだけのすごさがある」というようなお話をされました。また、それは「人間力でもある」ということでした。まさにそれを感じたのです。ここは、スーパーマーケットではありません。鮫川村産の手づくりのものだけが並んでいるのだから、鮫川村の人間力の目に見える形とも言えます。

現代人の食生活の乱れから、和食が見直されてきている昨今ですが、料理は和食でも中身はほとんど外国産の材料であることも珍しくありません。大事なのは中身です。一番良いのは自分で畑を耕すことだけれど、それが可能でない場合はぜひ「手・まめ・館」を利用して頂きたいです。村内産の野菜が食べられることは本当に幸せな事であると思います。　（文・飯塚ひろみ）



情報の泉

わくわく WAKU-WAKU

俳句

●第58回村文化祭東白農商高鮫川分校生徒作品紹介（奥の鮫川俳句会）

【天】秋風に背中おされて帰る道　内田希

【地】別れてはふり返る影秋の夜　岡田有莉

【地】キンモクセイの香りの風が頬を打つ　十文字直美

【人】踏みしめる雪がキシリと音をたて　十文字直美

案内・募集

●ふきのとう手話サークル会員募集

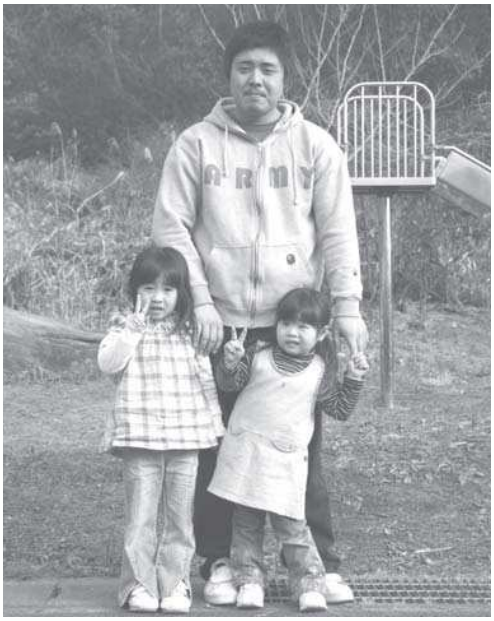
手話に興味のある方は、ぜひご参加ください。小・中学生、高校生の入会も大歓迎です。随時募集しています。／定例会（開催日時・場所）…毎月第２・第４火曜日、午後７時～８時30分、村公民館２階会議室／問い合わせ…☎0247-49-3138（鈴木光子）

●テクノセミナー（技術講習会）受講者募集　▶セミナーコース⑫「半自動溶接実践技能」／定員…10名／実施予定日…１月18日（水）・19日（木）／講習内容…溶接技能士として必要な技能・知識習得講習（半自動溶接技法演習、簡単な作品製作）／受講時間…午前９時～午後４時／受講料など…13,100円／申込期限…１月４日（水）／詳細・問い合わせ…福島県立

過疎化が進んでいますが、若い人ががんばっていますね。

―仕事はどんなことをしていますか？
鮫川運送（株）で、フォークリフトを使って荷物の管理をしています。
―仕事で心がけていることはありますか？
荷物を間違えないで出・入庫することを心がけていますね。
―休日はどんな風に過ごしていますか？
買い物に行ったり、子どもとレジャーを楽しんでいますね。
―これからしてみたいことはなんですか？
子どもを連れて家族旅行（沖縄）に行ってみたいです。
―現在の村についてどう思いますか？
過疎化が進んでいますが、若い年代が結構がんばってやっている感じがします。
―村について望むことはありますか？
子どもが遊べる空間（アスレチック）があればいいですね。

■ 次は山本寿夫さん（赤坂西野字大塩）の予定です。



湯座（ゆざ）　和実（かずみ）さん（26歳）
［赤坂中野字東前田在住］

誕生月　昭和54年２月
血液型　Ｂ型
星　座　うお座
趣　味　車観賞、カラオケ
性　格　負けず嫌い

学校だより

（第14回）

鮫川小学校 編

塙馨 校長
児童231名

自由参観日

鮫川小学校では、統合以来、十一月一日から七日までの「ふくしま教育週間」に合わせて、自由参観日を実施しています。都合のよい時間に自由に学校内を参観することができます。保護者の方々をはじめ、祖父母の方々や村民の方々など、年々参観してくださる方が増えてきているのは嬉しいことです。

さめっ子フェスティバル

十一月十九日（土）に、今年もさめっ子フェスティバルが実施されました。

体育館での全員そろってのオープニングでは、実行委員長の遠藤明日香さん（六年）の開会宣言の後、各学年の発表紹介、全校合唱の「ビリーブ」、そして校長先生、ＰＴＡ会長さん、各学年の児童と保護者の方の代表がテープカットを行い、にぎやかにスタートしました。

その後、合唱部による合唱の発表、各学年による公開が教室などで行われました。主に一・二年生は生活科で、三年生以上は総合的な学習で学習してきたことをもとに、一年「小さな森のあきのパーティー」、二年「あきのおまつり、楽しい出店」、三年「生き物はかせをめざして」、四年「わくわく野菜作り」、五年「わくわく大収穫祭」、六年「鮫川の環境」、つつじヶ丘学級「秋を楽しもう」と題して、発表あり、体験ありの楽しいフェスティバルとなりました。



さめっ子フェスティバル

（文・写真／鮫川小学校）

第9回村こども俳句・短歌・詩のコンクール 最優秀賞受賞作品紹介

村青少年健全育成推進協議会（会長・奥貫洋村教育長）と東白川郡校長協議会鮫川班主催の「第九回鮫川村こども俳句・短歌・詩のコンクール」の審査会は十月十八日に村公民館で開かれました。

コンクールには、村内の小・中学生が各部門（俳句・短歌・詩）に百五十点の作品を応募。厳正な審査の結果、次の十一作品が最優秀賞に選ばれました。

表彰は、十一月三日に行われた第十回村少年の主張大会の席上で行われ、奥貫会長から受賞者に賞状が手渡されました。


奥貫会長から賞状を手渡される受賞者

俳句の部

雨あがり空にかかるよにじのはし
鮫川小三年　菊地　舞

おいこみの宿題じゃまするせみの声
鮫川小四年　芳賀瑠里穂

あとすこし算数ノートとにらめっこ
鮫川小四年　松崎　芳人

短歌の部

夏になり夜は花火ときもだめし
鮫川小六年　小林　大起

時に来る夏の夕立ち恵みかな
鮫川中一年　大竹　涼

秋風にゆれるすすきのダンスショー
鮫川中二年　須藤　柚樹

ばあちゃんのトマトに光る熱い汗
鮫川中三年　矢吹　友美

詩の部

花火

鮫川小二年　岡部　望弥

花火の日には
ゆかたがきられる
今日の花火
つれて行ってもらえるのかなあ
おかあさんに聞いてみた
「今日つれて行ってくれる？」
しゅくだいやっていないから
だめだって
せっかくばあちゃん
きせてくれたのに・・・
こんなことなら
やっておけばよかった・・・
でもつれて行ってくれるって
こんどはちゃんとやっておこう
花火の音がどかんと
こころにひびいた。

ポカポカ

鮫川中三年　白石明日香

暖かい春の日差し　ポカポカの風
寒い日に飲むココア　ポカポカの体
友達の優しい笑顔　ポカポカの笑み
家族のめいっぱいの愛　ポカポカの心
寒い冬も涙でぬれたつめたいほほも
いつも私の心をつつむのは
ポカポカとそよぐあたたかいもの
自然から　物から　人から　愛から
ポカポカ　ポカポカ
そして今日も私の身体は
ポカポカでいっぱい

Information くらしの情報 インフォメーション

役場の電話番号
0247-49-3111(代表)

【直通電話番号】

総務課	49-3111
	FAX 49-2651
住民福祉課［住民係］	49-3112
［健康係・福祉係］	49-3113
	FAX 49-2651
農林課	49-3114
	FAX 49-2112
企画調整課	49-3115
	FAX 49-3363
地域整備課［建設係］	49-3116
［環境係］	49-3196
	FAX 49-3363
農業委員会	49-3197
	FAX 49-2112
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
	FAX 49-3152
図書館(FAX兼)	29-1150
公民館	49-2247
農業者トレーニングセンター(FAX兼)	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター(鮫川保育園・鮫川幼稚園)	29-1010
	FAX 29-1012
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ(FAX兼)	48-2555
「手・まめ・館」	49-2556
	FAX 49-2445

今月の納期
12月26日(月)
村県民税　第4期
国民健康保険税　第7期
介護保険料　第7期

◆お知らせ1

教育

図書館の臨時開館について

図書館では、子どもたちの長期休暇（冬休み）に合わせて臨時開館します。

臨時開館日　12月23日（祝）、12月26日（月）、12月28日（水）、1月9日（祝）の4日間

■**問い合わせ**　村図書館☎29-1150　村教育委員会教育課☎49-3151

子ども映画上映会開催

主催　村教育委員会
日時　12月11日（月）午前10時30分～正午（上映時間90分）
場所　村公民館「大集会室」
上映映画　長編アニメーション映画「ハードル」（子どもたちの心の声を描いた物語）

■**問い合わせ**　村教育委員会教育課☎49-3151

案内

最低賃金が改正されました

福島県内の事業所で使用されるすべての労働者（パートタイマー、アルバイトを含む）に適用される最低賃金が改正されましたのでお知らせします。

最低賃金(産業)名	最低賃金額（1時間）	効力発生年月日
福島県最低賃金 ※下記の5産業を除く全産業	614円	10月1日
非鉄金属製造業	720円	12月1日
電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 電子部品・デバイス製造業	680円	
輸送用機械器具製造業	714円	
精密機械器具製造業	708円	
自動車小売業	707円	

■**問い合わせ**　福島労働局賃金室☎024-536-4604

税務

「税に関する作文」コンクール 鮫中生2名入選

税に関する理解を深めてもらおうと毎年行われている中学生の「税に関する作文」コンクールの表彰伝達式が十一月二十二日、鮫川中学校校長室で行われました。


受賞を喜ぶ生田目さん（左端）、藤田さん（左から2人目）

今年度は、県南地方振興局長賞に生田目愛弓さん（三年）の作品「税金が笑顔を作る」が、白河地区納税貯蓄連合会長賞に藤田睦美さん（三年）の作品「税金との関わり」が選ばれました。式では、斉藤県南地方振興局県税部長から生田目さんに、武田白河地区納税貯蓄組合副会長から藤田さんにそれぞれ表彰状、記念品が贈られました。

12月・1月は村税完納推進期間です

村では、毎年12月1日から1月31日までの2カ月間を「村税完納推進期間」と定め、村税の完納運動を進めています。

村県民税（第4期）、国民健康保険税（第7期）および介護保険料（第7期）が今年度最終の納付となっています。村税など未納のある方はこの期間に完納されますようご協力お願します。納税についての相談も随時受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

■**問い合わせ**　村総務課税務係☎49-3111

◆お知らせ２

「国有林モニター」募集

林野庁関東森林管理局では、国有林に関心のある成人を対象に、平成18年度「国有林モニター」を次により募集します。

募集人員　70名

モニター依頼期間　平成18年４月から平成19年３月まで

応募資格　国有林に関心のある成人（議員、首長、国家公務員などは除く）

応募締切　平成18年１月31日(火)

■**問い合わせ**　棚倉森林管理署　☎33-3111／FAX33-3113

県南農林事務所農業普及部内に原油価格高騰に伴う営農相談窓口を設置

長引く原油価格の高騰により、燃料価格の上昇や石油関連製品などが上昇し、農業経営にも影響を及ぼしています。このため県南農林事務所では、原油価格高騰に対応する営農相談窓口を設け、営農に関する相談を受け付けています。今後の営農に関する相談がありましたら農業普及部までお問い合わせください。

■**問い合わせ**　福島県県南農林事務所農業普及部☎0248-23-1563

ＮＴＴ東日本発行の電話帳を配達・回収します

ＮＴＴ東日本福島支店では、12月中に順次、新しい電話帳（平成18年１月発行）を各家庭・事業所にお届けします。その際、現在使用されている電話帳と新しい電話帳を取替えますので配達員へお渡しください。なお、配達員に古い電話帳を渡せなかった場合は、後日改めて回収に伺いますのでタウンページセンタまでご連絡ください。

■**問い合わせ**　タウンページセンタ☎0120-506-309／NTT番号情報株式会社東北支店☎022-791-0204

アンケート記入にご協力をお願いします

東白川農商高等学校鮫川分校(池田健一郎分校長)では、分校における教育活動や学校運営が、生徒たちにより良いものとなるため、また、地域の皆さんが望むものとなるために、昨年度に引き続きアンケート調査を実施します。

皆さんの貴重なご意見を今後の教育活動の参考とするため、アンケートの記入にご協力をお願いします。

回答方法　回答用紙（組長さんを通して配布します）に記入し、組長さんに届けてください。組長さんは区長さんまで提出してください。

提出期限　12月15日(木)

■**問い合わせ**　東白川農商高等学校鮫川分校☎49-2029

鮫川村街頭犯罪発生状況

棚倉警察署（☎33-3241）

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	0	2
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	1
事務所荒らし	2	4
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	3
無施錠	0	0
ガラス破り	0	2
鍵穴破壊	0	1
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	0	1
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	2	11

発生件数：10月22日～11月21日
累計：１月１日～11月21日

●寒さも厳しさを増してくる季節になりました。犯罪の未然防止のためにおかしな人や不審な車に気付いた際には早期通報をお願いします。

◆いきいき健康通信　文／村住民福祉課健康係　中川西ミユキ栄養士

「かぜ」に負けない体をつくりましょう

寒い季節になりました。これからの季節、特に注意したいのがかぜです。『かぜは万病のもと』と言われるように、いろいろな病気を引き起こす原因にもなります。特に、体力が低下している人や乳幼児、高齢者は体の抵抗力が弱いため、悪化すると気管支炎や肺炎を引き起こしやすくなりますので、ひかないように予防を心がけましょう。

■かぜの原因と症状

原因　80％はウイルスによるものといわれ、その数は200種類以上もあると言われています。

症状　鼻水、喉の痛み、発熱、頭痛などがあり、ウイルスの種類や、体の抵抗力の状態によりさまざまです。

■かぜを予防するための対策

かぜを予防するには、健康の3本柱である栄養・運動・休養をバランスよく整えることと、ウイルスの侵入を防ぐことが大切です。

①栄養

●油脂類とビタミンAを一緒に摂りましょう。

寒くなると体の中では摂取した食べ物をエネルギーに変え、体を暖めようとします。そこで少量で充分なエネルギーになる油脂類を上手く摂り入れ、併せて、体に抵抗力をつけ、口や鼻の粘膜を丈夫にするビタミンAを同時に摂る事により、より吸収が良くなります。かぼちゃ、春菊、にんじんなどの色の濃い野菜を炒め物や天ぷら、ポタージュ(スープ)などの料理方法で食べましょう。

●たんぱく質をたっぷり摂りましょう。

たんぱく質は寒さに対する抵抗力を強め、体を暖かくします。不足すると体力が落ちてしまうので、不足しないように毎食食べるようにしましょう。これからの季節は秋に収穫した大豆などがお勧めです。(目安…1日に大さじ2杯)その他一食につき魚肉…60ｇ、卵…1個のいずれかを摂りましょう。

●ビタミンで体のバランスを整えましょう。

ビタミンCは体のバランスを整え、免疫をつくります。冬は白菜、ねぎ、れんこん、大根、さつまいも、みかん(2個で1日分のビタミンCが補えます)などビタミンCを多く含む食材があります。これらを鍋物やけんちん汁などでたっぷり摂りましょう。

②運動

●かぜに負けないように体力をつけましょう。

冬は体の機能が低下するとともに運動不足になりがちです。毎日できる運動をはじめ、冬こそ体を鍛えましょう。天気の良い日はウォーキング(30分位)、天気の悪い日はステップ運動(10～20㌢の台の上り下りを20分位)がお勧めです。(ステップ運動について知りたい方は住民福祉課☎49-3113へお問い合わせください。)

③休養

●充分な睡眠をとりましょう。

寝不足が続くと疲労が残り、抵抗力が弱くなるため、かぜのウイルスが侵入しやすくなります。

④ウイルスの侵入を防ぐために

●外から帰ったらうがいと手洗いの習慣をつけましょう。

外から持ち込んだウイルスを洗い流すために、また、空気中のウイルスを体の中に入れないために、手洗いと水でのうがいが効果的です。

■かぜをひいてしまったら?

かぜの予防はしていても体が疲れていて抵抗力が弱っているとかぜをひきやすくなります。もしひいてしまったら、①暖かくして寝る。②安静にする。③食事に注意する。④水分を多くとることが大切です。

特に食事では、かぜの予防対策の栄養部分を再度見直し、かぜをひかないような生活を送りましょう。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介

鮫川村図書館☎29-1150



大人の友情（河合隼雄著／朝日新聞社）

日本は今、物質的に豊でそれを維持するために人々は忙しすぎて、ギスギスしたりイライラしています。人生を癒し支え、人と人との間の潤滑油となる「友情」の大切さを認識させられる本。



なんとかなるって！（ブリジット・ペスキース作、大澤晶訳／ほるぷ出版）

みーんなうまくいかない。味方はおばあちゃんだけ。老いへの恐怖にとりつかれた思春期の少女が多くの人と向き合うことで成長していく物語。

火	水	木	金	土
		12/1 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●肺がん(喀痰)検診‥①9:00～9:30／渡瀬区集落センター②10:30～11:00／青生野集落センター③13:00～13:30[保]	2 ●栄養教室･健康相談会…10:00～15:00／塩倉集落センター	3 ●お遊戯会[こ] ●さめがわ夢づくり起業塾(第1回)…13:30～16:00／役場「正庁」
6 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	7 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●栄養教室・健康相談会…10:00～15:00／赤坂西野区民センター ●おはなしの森…16:00～16:30[図] ●社会学級第8講座および閉級式…10:00～14:00[公]	8 ●リハビリ教室…10:00～15:00[保]	9	10
13 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	14 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●栄養教室・健康相談会…10:00～15:00／塚本ふれあいセンター ●おはなしの森…16:00～16:30[図] ●ふれあいおはなし会…10:00～10:30[図] ●思春期ふれあい体験学習…13:30～15:20／鮫川中	15 ●10カ月児健診…10:00～[保]	16 ●栄養教室･健康相談会…10:00～15:00／切払集会所	17 ●さめがわ夢づくり起業塾(第2回)…13:30～16:00／役場「正庁」
20 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●農業委員会総会 ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●教育委員会	21 ●社会復帰支援事業(やまぶきの会)…10:00～15:00[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	22 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●各小中学校・幼稚園終業式	23 *天皇誕生日* ㊡あらまちクリニック(棚倉町)☎33-8018 車田病院(塙町)☎43-1019	24 ●チャレンジスクール「スケート教室」
27	28 ●仕事納め	29 ●図書館休館日	30 ●図書館休館日 ㊡石川中央病院(石川町)☎26-2024	31 ㊡杉山胃腸科外科皮膚科(棚倉町)☎33-7551 東舘診療所(矢祭町)☎46-3165 ●図書館休館日
3 ㊡塙厚生病院(塙町)☎43-1145 ●図書館休館日	4 ●仕事始め ●村消防団出初め式 ●図書館休館日	5	6	7

[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[図]＝図書館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

●お誕生おめでとうございます

（10月届け出分・敬称略）



舟木（ふなき）　玲王（れお）・男
平17.10.2生
住所…茅
保護者…副善・則子



藤田（ふじた）　紗輝（さき）・女
平17.10.6生
住所…青生野
保護者…孝之・美由紀

●おくやみ申し上げます

（10月届け出分・敬称略）

住所	氏名	月日	年齢
赤柴	関根　三夫	10.14	73歳
青生野	大森ヨシイ	10.15	66歳
虹ヶ沢	石井　正子	10.19	23歳

●人の動き　11/1現在・（　）は前月比

人口	4,506人	（＋3）
男	2,242人	（＋1）
女	2,264人	（＋2）
世帯	1,118戸	（－2）

●寄付・寄贈　（10・11月受理分・敬称略）

■社会福祉事業のために[金員]…関根マリ子（赤柴）、有限会社平成クリーンサービス代表取締役藤田圭希（棚倉町）[写真]



「日頃お世話になっている鮫川村の社会福祉に役立ててください」と話す藤田さん（右）

■豆で達者な村づくり事業のために[味噌用豆すり機]…小平昭二・勝江（古殿町田口）



「新聞の記事を読みました。ぜひ村の味噌づくりに役立ててください」と話す小平さん夫妻

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■先月6日に「手・まめ・館」がオープンしました。館内にはみなさんが、心を込めて作った農産物、加工品が並びます。勢ぞろいした品物を見て、村には資源がいっぱいあることを改めて感じました。村の元気が集まる「手・まめ・館」をぜひご利用ください。　（緑川）

12 生活情報カレンダー 月1日～1月7日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
4 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 中島病院（石川町）☎26-3415	**5** ●栄養教室・健康相談会…10:00～15:00／西部集落センター ●図書館休館日
11 ㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 木村医院（矢祭町）☎46-3528 中島病院（石川町）☎26-3415 ●映画「ハードル」上映会…10:30～12:00［公］	**12** ●４カ月児健診・ＢＣＧ接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 ●図書館休館日
18 ㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 塙厚生病院（塙町）☎43-1145	**19** ●図書館休館日
25 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 中島医院（塙町）☎43-0373 中島病院（石川町）☎26-3415	**26** ●村税等納期限
1/1 *元旦* ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 木村医院（矢祭町）☎46-3528 中島病院（石川町）☎26-3415 ●図書館休館日	**2** *振替休日* ㊡勝田医院（棚倉町）☎33-3008 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 ●図書館休館日

㊡＝休日当番医

鮫川の昔話

第十二話
西山のイチイの話

（文・切り絵　中井恒峯）



むかし、むかし西山のあるところに働き者の若い人たちが住んでいました。若者たちは毎日山に行って薪取りをしていました。

ところが、思うように薪取りができなくなりました。山の力がなくなったからです。

「まえには山に行けばいくらでも薪にふさわしい木があったのに」

「どうしたら良いのだろうか」

「どうしようもないねえ」

と若者たちは考えていました。

そのうち若者の一人が言いました。

「山の神様に頼んでみよう」

「それがいい」

そしてみんなで山の神様を拝むことになりました。

若者たちは貧しい中にもしっかり者だったので、重箱に料理を入れて酒も持って山に入りました。そして山の頂上に登って手を合わせて拝みました。

「どうか山の木が育ち、薪が取れますように」

するとどこからともなく声がして、一人の山の神が現れて言いました。

「若者たちよ、今日は何を祈願したのかな」

若者がびっくりして顔を上げて目を開けると、立派な白いひげをはやした山の神が立っていました。若者たちは、

「山の神様、山が豊かになるようにお願いします」

「そうかそうか」

と山の神はうなずき、

「お前たちは立派な若者だ。拝んでくれたお礼にこれをあげよう」

と木の苗を沢山くれました。

若者たちは喜んで家に帰り、木の苗を植えました。

このときに植えた苗木の一部が今も県指定天然記念物となっていて、西山字宝木にある「西山のイチイ」だそうです。西山のイチイは雌雄二本ですが、イチイは深い山に自生し、葉はとがって細長いため、悪魔を防ぐと言われ、昔から身分の高い人の正式の服装「束帯」のときに手に持つ笏の材料となっています。また、イチイは「一位」と読めるため、第一の意味で喜ばれ、別名はアララギといいます。

（福島史談会長・広畑出身）

※この話は、筆者が村を訪ねた際に民話などを採話し作られたものです。

広報 さめがわ　No.620［平成17年12月1日発行］
■発行・編集／福島県鮫川村役場総務課　〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５　■TEL 0247-49-3111（代表）
■FAX 0247-49-2651　■ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/　■E-メール soumu@vill.samegawa.fukushima.jp